

鳥取県農林水産部指定管理施設運営評価委員会評価報告書

鳥取県農林水産部指定管理施設運営評価委員会（以下「評価委員会」という。）として、次のとおり指定管理者による鳥取県立とっとり花回廊の管理運営状況を評価した。

1 対象施設

鳥取県立とっとり花回廊

2 指定管理者

一般財団法人鳥取県観光事業団（鳥取市栄町606番地）

3 指定管理期間

平成23年4月1日から平成28年3月31日まで（5年間）

4 評価委員会

(1) 開催日 平成27年3月25日

(2) 開催場所 鳥取県立とっとり花回廊 会議室及び園内

(3) 評価委員

氏名	所属及び役職名
若松 信宏（委員長）	西日本税理士法人（税理士）
平元 陽輔（副委員長）	くらよし佐野法律事務所（弁護士）
生本 礼子	（公社）日本フラワーデザイナー協会公認校 デザインスタジオ花楽 主宰
山崎 裕美子	皆生菊乃家 若女将
岸田 悟	鳥取県農林水産部長

(4) 評価方法

平成23年度から平成25年度分の指定管理者から提出された事業報告及び各年度の県による評価結果、園内視察等に基づき、各委員が以下の審査項目ごとに評価を行った。評価は、「2、1、0、△1、△2」の5段階で行い、5人の委員の平均で決定した。

審査項目	主な審査内容
施設設備の維持管理等	・施設設備の保守管理・修繕 ・施設の保安警備、清掃等
施設の利用の許可、利用料の徴収等	・利用料金の徴収・減免等
利用者サービス	・開園時間、休園日、利用料金等 ・利用者へのサービス提供・向上策 ・利用者意見の把握・対応
観光振興	・施設の利用促進 ・情報発信・広報宣伝
県内花きの振興	・植え替え花壇苗の調達 ・県内花き生産者の指導・育成 ・学習・普及啓発活動
収入支出の状況	・経営状況
職員の配置	・管理運営の組織・職員の職種等 ・日常の職員配置 ・障がい者雇用等

《評価指標》

2：協定書の内容について高レベルで実施されており、また、計画を上回る実績があり、特に優れた管理運営がなされている。

1：協定書の内容を上回るレベルで実施されており、優れた管理運営がなされている。

0：おおむね協定書の内容どおり実施されており、適切な管理が行われている。

△1：一部、改善・工夫を要する事項が見られたが、改善済み又は改善される見込みである。

△2：協定書の内容に対し、不適切な事項が認められ、大いに改善を要する。

(5) 評価結果

ア 評価点数

指定管理者によるとっとり花回廊の管理運営状況の評価は「1」と決定した。

審査項目	評価(5人の委員の平均)
施設設備の維持管理等	0.8
施設の利用の許可、利用料の徴収等	0.0
利用者サービス	1.2
観光振興	0.6
県内花きの振興	1.2
収入支出の状況	0.4
職員の配置	1.2
総括	0.77

(注) 総括の評価は0.77となり、委員協議の上、5段階のうち「1」と決定。

イ 評価委員からの主な意見

【施設設備の維持管理等に関する意見】

- 施設の経年劣化が進んでいるようであるが、その都度修繕を行うなど適切に保守管理されている。お金をかけずに古さを感じさせないような処置・対応に努めてもらいたい。
- 経年劣化で修繕が必要な箇所が多くなっているため、管理者、県で十分な検討を行い、集客施設として一定水準を保っていくことが重要。
- 施設の維持管理等は、素晴らしいと思います。

【施設の利用の許可、利用料の徴収等に関する意見】

- チケット管理等の不備は、マイナスのあらぬ風評を招きかねないので、再発しないよう気をつけてください。

【利用者サービスに関する意見】

- アンケート等で利用者の意見を把握し、可能な限り対応されていることが確認され、評価できる。
- 施設のメインの呼びものを新たに考える時期。県と一緒に検討を進めて欲しい。

【観光振興に関する意見】

- イルミネーションに伴う入園者を除くと、入園者数は減少している。気候等の外部要因もあると思うが、お客様のニーズあるいはマーケットを的確に把握し、施設の魅力を増す努力に期待します。
- 景気低迷やテーマパーク以外の観光動向が低調な中、イルミネーション等新規要素も取り入れながら集客に努力している。
- 他施設に集客が負けている点が課題です。今後の工夫等をお聞きしましたので、期待しています。

【県内花きの振興に関する意見】

- 西部地区の花き振興へは大きく貢献している。

【収入支出の状況に関する意見】

- 収支差額は経営努力によりプラスが維持されており、評価できる。
入園者の減少に伴う収入減もあるが、今後も一層の経営努力により県の受託収入に依存しない自立した経営をお願いしたい。
- 事業団全体の運営もあり、花回廊の黒字を花回廊の運営費に集中できないのが残念です。やはり、独自性とその宣伝費は削れないと思います。

【職員の配置に関する意見】

- 障がい者や高齢者の雇用は他の施設の模範となるもの。

【その他】

- 日々の努力が感じられ、とてもうれしく思いました。
- 毎年入園していますので、今後どのように変わるのか楽しみにさせていただきます。
- 中心部より離れたところで、外にも気を配っておられるのに、とても嬉しく思います。
- この広大な敷地を維持管理されていくのは本当に大変なことと改めて実感しました。
そんな中、花回廊の年1回の全体会議での職員のマインドを強めていこうとする教育に関してのいろいろな取り組みなど、これからにつながる心強い姿勢や取り組みが理解できました。
「ゆりの館」「待合室」「お土産コーナー」が老朽化等により、床や壁がかなり汚くなっていることなどについては、限られた予算の中で後回しになったのは仕方がないだろうと思われませんが、地元の方達にこそ何度でも訪れたい「居心地の良さ」に即決すると思いますので、食堂の改装を行ったように修繕等されることを期待しています。
コアな層と、一般的なエンターテイメント性を求める層との兼ね合いが難しいと思いますが、これからも職員皆様で話し合ったり、勉強に出かけられたりして、向上していかれることを応援したいと思います。